



# さんびょうだより



三戸中央病院

## 医療機器の紹介【CT装置】

当院では、病気の診断・治療のため、さまざまな医療機器を配置しております。今回は、令和2年12月に更新しましたCT装置（64列マルチスライスCT）をご紹介します。

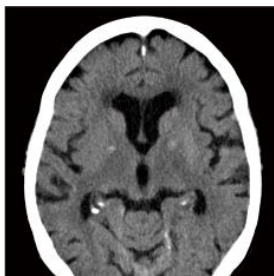
CT検査とは、患者様の体の周りを回転しながらX線を照射して、輪切りの画像を撮影する検査です。また、撮影した画像から縦切りの画像や3次元画像など様々な画像を作成できますので、脳卒中やがんなどの病気を早期発見・診断するために大変有効な検査となります。

近年、CT装置は多列化と低被曝線量化が進んでいますが、今回導入した装置はそれらに対応しており、これまで使用していた16列CT装置よりも細かく高精細な画像を撮影できますので、小さな病変も発見することが期待できます。また、撮影時間も短くなり、患者様に息を止めていただく時間も今までの半分ほどで撮影できるようになりました。

そして、新しい画像処理技術により放射線被曝を大幅に減らしながら、以前よりも高画質の画像を撮影できますので、今後もさらに良質な診断、治療に寄与できるものと考えております。



### 【☆CT装置で撮影した画像】



【頭部】



【腹部】



【大動脈3D】



【下肢動脈3D】

※CT検査では検査目的によって造影剤という薬剤を注入しながら行う場合もあります。

アレルギー体質の方や妊娠中、妊娠の可能性のある方は、事前に医師・看護師・検査担当者までお知らせください。

## 陰圧式エアータントの紹介

当院では、令和3年1月に「陰圧式エアータント」の設置をいたしました。これまでは、新型コロナウイルス感染症疑いのある患者様の診察は、「簡易テント」で診察をしておりましたが、今後は、「HEPAフィルター付き陰圧装置と冷暖房設備付きエアータント」で診察いたします。

HEPAフィルター付き陰圧装置により、テント内部の気圧を外部より下げ、汚染された室内の空気を外部に拡散することを防ぎます。

熱や咳などの症状のある方は、引き続き必ず来院前に当院へお電話頂きますようお願いいたします。尚、お電話による問診などにより、必要がある場合、同テントへのご案内となります。

